



TECHNICAL NOTE

No:504

Sep 2020

Quantum 7 V1280 (Stealth Core2) へのアップグレード方法

重要：このテクニカルノートは TN500 の更新版になります。

このテクニカルノートに関連したアップデートパッケージの名前は「Qunatum7_V1280x_update_Package.zip」であり、アップデータ自体の名前は「Quantum7_V1280x_Updater.exe」になります。

「Quantum7_V1280z_Updater.exe」がお手元にある場合はダウンロードパッケージを DiGiCo サイト https://digico.biz/base_product/7q/ からダウンロードし直して、「Quantum7_V1280x_Updater.exe」をご使用ください。

下記の内容は Quantum7 コンソールを V1143 から最新 V1280 へアップグレードするための指示書になります。V1280 は External Waves MultiRack、SuperRack と互換性があります。

このアップグレードは「Console Software」、「SHARC1」、「SHARC3」、「Engine HOST」に関するアップデートになります。

**これらのアップグレード作業を行う際は、予想外の障害や不具合を考慮し、
仮設現場での作業、特に当日に本番がある場合は
別の機会に作業することを強くお奨めします。**

**また仮設・常設を問わず、時間が十分に用意出来ない場合も同様に
別の機会に作業することをお奨めします。**

今回のアップデート完了後のバージョンとコードは以下のように表示されます。

| Description | Version 1143 | Version 1280 |
|------------------------|--------------|--------------|
| Software | 11.0.1143 | 12.2.1280 |
| Worksurfaces | 58 | 58 |
| Local I/O | 115 | 115 |
| Timecode | 48 | 48 |
| Switcher | 45 | 45 |
| Engine: HOST | 37 | 39 |
| Engine: SHARC 1 | 27/09/2019 | 11/02/2020 |
| Engine: SHARC 2 | 24/09/2019 | 24/09/2019 |
| Engine: SHARC 3 | 29/10/2019 | 18/02/2020 |
| Engine: FPGA 1 | 10/09/2019 | 10/09/2019 |
| Engine: FPGA 2 | 09/05/2019 | 09/05/2019 |
| Engine: FPGA 3 | 14/11/2018 | 24/10/2019 |
| SD-Rack: Rack8b.bin | 21/09/2016 | 21/09/2016 |
| SD-Rack : Rack8b.bit | 05/07/2012 | 05/07/2012 |
| D-Rack : Drack8b.bin | 10/12/2014 | 10/12/2014 |
| D-Rack : Drack.bit | 13/03/2014 | 13/03/2014 |
| D2-Rack: D2rack.bin | 03/11/2017 | 03/11/2017 |
| D2-Rack:D2rack.bit | 01/04/2014 | 01/04/2014 |
| Optocore V221 Firmware | V5R3 | V5R3 |

このアップグレードを実施する際は、コンソールの Optocore、MADI、ローカル I / O およびヘッドホンアウト端子にケーブルが接続されていない状態で行ってください。コンソールを立ち上げたら A/B エンジンともに Quit to Windows ボタンから Windows 画面を立ち上げて、以下の手順に従い作業してください。

ENGINE A...

1. ソフトウェアアップデーター **Quantum7_V1280x_Updater.exe** を DiGiCo コンソールに付属している USB キーにコピーし、Quantum7 サーフェイス上の USB ソケットに挿入します。
2. **Start メニュー** を右クリックして、**Computer** を選択します。接続した USB キーに移動し、USB キーから **Quantum7_V1280x_Updater.exe** を実行すると、必要なアップデート、アプリケーションソフトウェア、および現在の Quantum7 アプリケーションフォルダーのバックアップのインストールが開始されます。
3. UpdateHardware アプリケーションが自動的に実行されます。デバイスごとに、現在実行中のバージョンが「running」の列に表示され、新しいバージョンが「available」列に表示されます。

Available 列に表示されるバージョンは D : \ SD7Q ディレクトリ内の対応するファイルに基づいています。

次に、「**update**」ボタンまたは「**update all**」ボタンを押してコンソールファームウェアの更新を続行するか、以下に指定された順序で更新します。Quantum7 エンジンに **DMI カード** が挿入されている場合は、DMI ファームウェアのアップデートも必要な場合があります。なお、V1143 からアップグレードする場合は、次のコードを更新します。

SHARC 1&3
DMI Cards
Engine HOST

4. Engine Host のアップグレードが完了すると、アプリケーションからコンソールの電源を落とすか問われますが、ここでは **No** を選択します。

5. UpdateQuantum プログラムを閉じます。

Engine B へ切り替え、Engine A で行った上記 1 番からのプロセスを Engine B 側で実行します。

6. Engine B 側で作業手順 1～5 番までを実行したら、A / B 両エンジンをシャットダウンし、コンソールの電源を切ります。

7. コンソールの電源を入れます。

すると、両エンジンで SD7 アプリケーションが直接起動します。**V1143 より前のバージョンからアップグレードを行っている場合、上記以外の項目にもアップグレードが必要な場合があります。**

詳細及びサポートが必要な場合は、ヒビノインターサウンド株式会社へご連絡ください。

Diagnostics パネルで、すべてのコンポーネントが正しく更新されていることを確認してください。(Diagnostics パネルを開くには System メニュータブから Diagnostics を選択します。)

Diagnostics ウィンドウの左側にある Console タブには、更新したシリアルデバイスのバージョンが表示されます。

Console タブ右側のセクションにはシリアルデバイス一覧が表示され、code の列でそれぞれのデバイスで起動しているバージョンを確認することができます。

これらシリアルデバイスのバージョンは、同資料の冒頭に記載されているバージョンと一致している必要があります。一致していない場合は、アップグレード作業が正常に完了しなかったこととなります。UpgradeQuantum アプリケーションの Start メニューを使い、上記アップデート手順の 2 番から作業を繰り返す必要があります。

Diagnostics の Engine タブには、アップデートした Engine コードが表示されます。Host、Effects、FPGA の code と downloaded に表示される日付が、同資料の最初に掲載したリストの日付と一致していることを確認してください。

以上の手順を実行しても Quantum7 を正常にアップグレードできない場合は、ヒビノインターサウンド株式会社へご連絡ください。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563

E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <https://www.hibino-intersound.co.jp/>